

高時川と支流の現地踏査の記録

2023/11/2

すみつなく高時川代表 子林 葉

高時川と各支流の位置



2022/8/13 時点での支流の濁りの比較

① 大音波谷川



② 針川



③ 尾羽梨川



④ 鷺見川



⑤ 奥川並川



8/13 時点と、後日の濁りの状況を比較すると、土砂の発生量は次の通りであると推測した。

大音波谷川 > 鷺見川 > 針川 ≒ 尾羽梨川 > 奥川並川

現地踏査 (県道 285 号 中河内～菅並間)

A. 2022/8/14 大音谷川合流地点下流



B. 2022/8/14 大音谷川～針川間



C. 2022/8/14 大音谷川～針川間



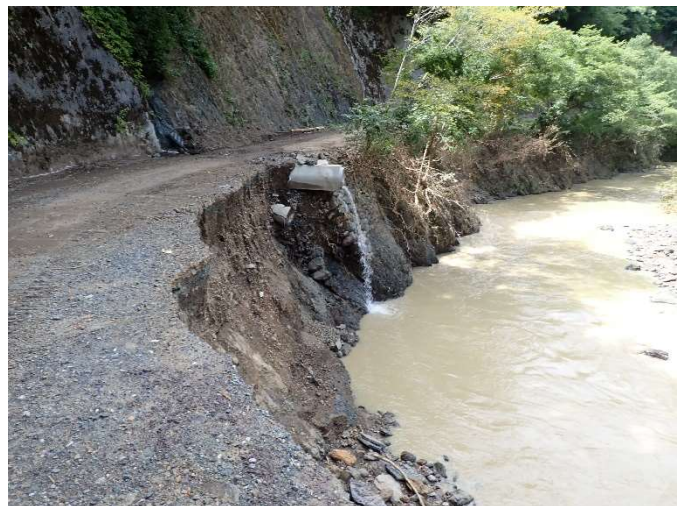
D. 2022/8/14 大音谷川～針川間



E. 2022/8/14 針川～尾羽梨間



F. 2022/8/14 鷺見～田戸間



現地踏査(バルク余呉スキー場)

A. 2022/8/14 国道 365 号側



B. 2022/8/14 国道 365 号側



C. 2022/8/14 大音波谷川側



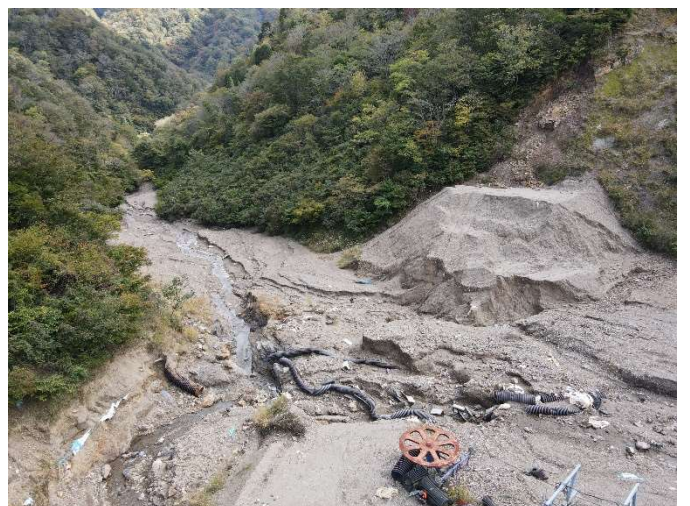
D. 2022/8/14 大音波谷川側



E. 2022/8/14 大音波谷川



F. 2022/10/25 大音波谷川



現地踏査(高時川の支流)

A. 2022/9/4 鷲見川



B. 2022/9/4 鷲見川



C. 2023/9/30 針川



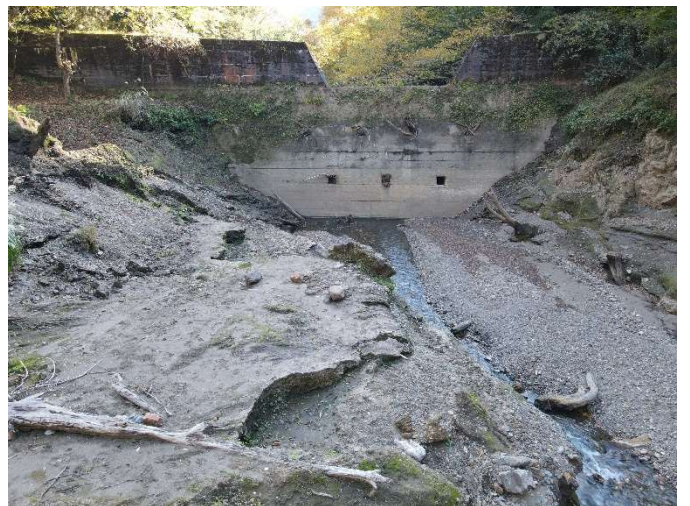
D. 2023/10/14 尾羽梨川



E. 2023/10/14 尾羽梨川



F. 2022/10/30 杉野川上流(※木之本町)



2018/8/11 余呉町菅並六所神社前



2023/4/10 余呉町菅並六所神社前



現地踏査まとめ

- 豪雨による自然な土砂の発生に加えて、人工的な自然改変に起因する土砂が発生していた。
- 河岸侵食には自然要因によるもの、道を通すために斜面を削る人為的な要因によるものがあった。
- ベルク余呉スキー場からはスキー場開発及び、是正工事のために谷を埋めた盛土が大音波谷川へと流れていた。
- 砂防堰堤を作るための作業道や、堰堤そのものが土砂の発生源になっていた。
- 作業道の崩壊要因には、河川の増水によるもの、谷筋を埋めて水の流れを阻害しているものがあった。
- 砂防堰堤が貯めこんだ土砂が、豪雨によって放出されていた。

高時川源流域における開発行為が土砂の発生を増やし、濁水の長期化の一因となっている。

高時川の清流、地域の美しい風土を未来に引き継ぐために懸念する開発行為

1. 県道中河内木之本線(285号)の整備 (高時川本流)
2. ベルク余呉スキー場の是正工事 (高時川源流・大音波谷川源流)
3. 余呉南越前第一・第二ウィンドファーム発電事業 (高時川源流・大音波谷川源流)